

NPO エコライフはまつ様
お礼とご報告

この度はマラウイに楽器を寄贈してくださり、誠にありがとうございます。私は、マラウイ南部の町、マンゴチ県マンゴチ教師研修センターに配属されております、清水聡恵と申します。

マンゴチ教師研修センターは、マンゴチの町にある 11 の公立小学校を管轄しています。マンゴチは大きな町で、教師研修センターがあるメイン校だけで 4,000 人以上の児童がいます（私が入っている 5 年 A 組には約 120 人の児童がいます）。私は現在、メイン校の 5 年生のクラスで算数と表現芸術の授業のサポート、メイン校及び巡回校 2 校の計 3 校での音楽クラブの指導を主な活動としています。

今回、マンゴチ教師研修センターは、鍵盤ハーモニカ 15 台、ソプラノリコーダー 20 本、アルトリコーダー 15 本を寄贈されました。



マンゴチ教師研修センターの初等教育アドバイザー

●マンゴチの町について●

マンゴチはマラウイ湖の南に位置しています。観光地であるマラウイ湖から近いため、マンゴチの町にはロッジがたくさんあり、外国人を見かけることも珍しくありません。標高が低い湖沿いは気温が高く、マンゴチもマラウイの中で暑い地域の一つです。マンゴチの町には、マラウイ国内で日本が最初に建てた橋があります。



町の中にある時計塔
その奥に
日本が建てた橋があります

●メイン校について●

メイン校の敷地内にマンゴチ教師研修センターがあります。マンゴチの町の中で一番大きな学校で、1～8年生 4,000人以上、1クラスに100人以上の児童がいます。私は5年A組のクラスに入り、表現芸術と算数の授業のサポートをしています。120人の大人数クラスでは子どもたちの集中力を保つことが難しく、初等教育の深刻な問題の一つです。先生は子どもたちをまとめるために、授業を始める前に歌を歌って子どもたちの注目を集めています。



メイン校の校舎と校庭



5年A組の子どもたち

●音楽クラブについて●

メイン校と巡回校2校での音楽クラブの指導を、私の主な活動としています。

楽器が届くまでは、日本語の歌（ふるさと）、英語の歌（ドレミの歌）、マラウイの国歌（二部合唱）などを教えていました。

マラウイに音楽の授業はないため、この音楽クラブを通して子どもたちに音楽の時間を与えています。



音楽クラブの子どもたち

朝会で国歌の二部合唱を披露している様子

●楽器について●

頂いた楽器は現在、メイン校の音楽クラブで鍵盤ハーモニカを、巡回校2校の音楽クラブでソプラノリコーダーを指導しています。

週1回のクラブ活動でも、子どもたちの成長は著しく、回を重ねるごとにどんどん上達しています。特にメイン校でやる気のある子は、クラブのない日にも“今日も教えて!”と言って、放課後に学校に戻ってきて練習しています。

そして何より嬉しかったことは、子どもたちが自主的に教え合う姿を見られたことです。

普段の授業の中で、グループワークをさせても、わかる子たちだけがやっしまい、わからない子たちは取り残されてしまいます。わかる子に「お友達に教えてあげて」というと、“解き方”ではなく“答え”を教えるので、わからない子は自力で問題を解くことができません。しかし、楽器の練習の中では、自分の隣の子ができていないのを見つけると、“どの指を使うのか”、“どの鍵盤を押すのか”、“どの穴を塞ぐのか”等、率先して教え合っています。この楽器の練習を通して、楽器演奏のスキルだけではなく、チームワークや助け合いの精神も育んでいくことができると感じています。



メイン校音楽クラブ
3人で1台の鍵盤ハーモニカ
教え合いながら練習しています



巡回校①



巡回校②

今現在は私が一人で教えている状況ですが、今後、マンゴチの各学校から教員を集めて指導し、各学校で教えられるようにしていきたいと思っております。
本当に、ありがとうございました。

青年海外協力隊
マラウイ
青少年活動
清水聡恵